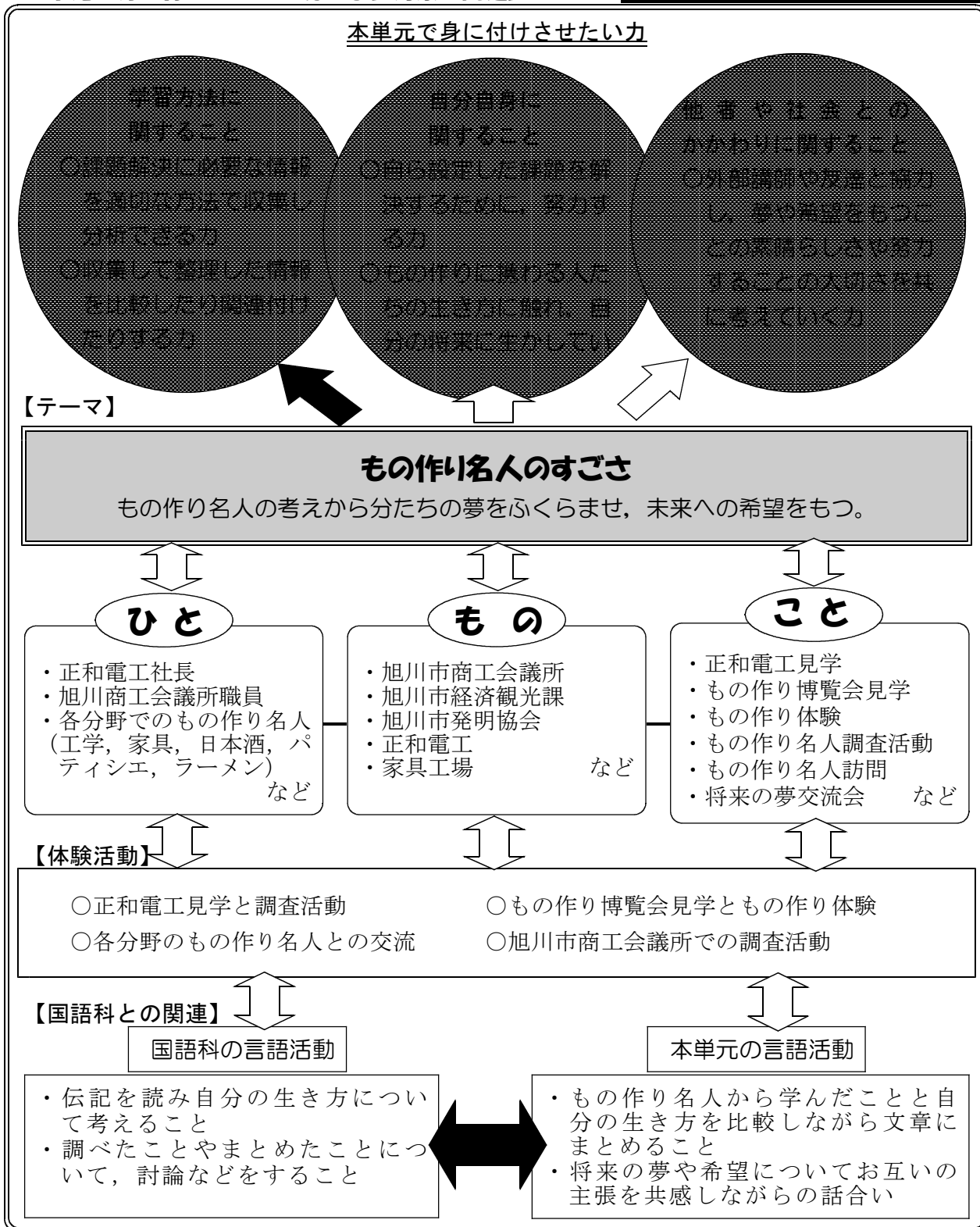


学年	単元名	児童	場所	指導者
5年	もの作り名人に学ぼう！	旭川第三小学校 5年1組 24名	5年1組教室	植村 博行

1 単元で身に付けさせたい力と学習対象の関連図 ……【研究視点1 旭川を見つめ学びを創造する学習対象の吟味】



2 単元について

(1) 教材化にあたって

「最近の子どもたちは夢がない」という言葉を耳にすることがある。確かに現代の社会に生きる子どもたちは、「自分の夢」について考える機会があまりないことも事実である。こうした要因の一つに、「この人のようになりたい」「こんなことができるようになりたい」といった「あこがれ」を抱くような出会いや体験に乏しいことが考えられる。

旭川には、家具や酒、工業製品、ラーメンなどたくさんの「もの作り」が存在する。そうしたもの作りに携わる人々は、子どもたちが学ぶべき情熱や信念、夢や希望をもっている。もの作りに携わる人々は、学習対象として非常に価値のある人々である。

そこで、本単元では「旭川に存在するもの作り名人」にスポットを当て、そうした人々との交流を通して、子どもたちに「もの作りの素晴らしさ」に触れさせるとともに、「夢をもつことの素晴らしさ」や「目標をもって生活することの大切さ」を考えさせていきたいと考え設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、初めてのことに挑戦することに抵抗を感じたり、自分に自信が無く、積極的になれなかったりする児童が多い。また、実態調査から生活の中で「目標をもって頑張っている」と答えた児童はほとんどいないことが現状であった。目標をもって取り組み、何かを為すという経験に乏しい実態がそうした現状となって表れているのだと考えられる。

旭川には夢や信念を大切にしながら「もの作り」に情熱を傾けている人々が多く存在するが、ほとんどの児童はそうした人々と出会った経験はほとんどない。児童に「将来の夢」を調査してみたところ、約8割程度の児童は自分の夢を書くことができている。「パティシエ」「野球選手」「寿司職人」「漫画家」など具体的に書く等将来の夢に対する関心は比較的高いと言える。

(3) 指導について

本単元では、旭川に住む「もの作り名人」との交流を通して、もの作りの素晴らしさに興味関心をもたせるとともに、そうした人たちがもつ考え方を通して、自分の将来の夢や希望について考えさせていく。単元を展開する中では、「人」との出会いを重視していく。「もの作り」に情熱を傾け、努力を惜しまない名人の考えや姿に触れることは、児童の将来の夢や希望をふくらませる一つの指針となるはずである。

単元内では、個の考えをしっかりとつため、個人で整理・分析をする時間を大切にする。予想と調査結果を分析することで自分なりの考えを導き出すことができたり、小グループで調査した情報や自分の考えを交流する場を設定することで、自分の考えに自信をもったり、広げたりすることができるであろう。そうした学習を積み重ねながら、少しずつ自分の考えに自信をもっていくことで、将来の夢や希望について考えさせていきたい。

3 単元の目標

○もの作り名人が大切にしている考えに触れ、自分たちの夢をふくらませ、自分の未来に希望をもつ。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

学習方法について	自分自身について	他者や社会との かかわりについて
<p>○自分が関心のあるもの作り名人を訪ね、適切な方法で情報収集をし、整理した情報をもとに、関連付けたりし比較したりしながら分析することができる。</p> <p>○整理・分析した調査結果をもとに、自分の考えを明らかにした表現活動ができる。</p>	<p>○もの作り名人が大切にしている考えを追究するため、課題を設定し、自分の予想と比べながら課題解決に向け行動しようとする。</p> <p>○もの作り名人の考えと、自分の将来に関する夢や希望を関連させ、今後の生活に生かす方法を考えている。</p>	<p>○課題の解決に向けて、自分の考えと友達の考えを交流しながら、もの作り名人が大切にしている考えを話し合うことができる。</p> <p>○学習を通して育んだ夢や希望を交流しながら、お互いの夢や希望について認め合うことができる。</p>

(2) 学習活動における具体的評価規準

単元 (次)	学習方法について	自分自身について	他者や社会との かかわりについて
第1次 ⑪	○正和電工見学と橘井社長の話やもの作り博覧会の見学を通して、追究してみたい課題を設定する。	○正和電工橘井社長の話やもの作り博覧会を通して、もの作りに対して自分なりに興味をもとうとする。	○鉄工組合の人と共にもの作り体験をすることで、もの作りの楽しさを感じることができる。
第2次 ⑮	○旭川に存在するもの作り名人を調査するために、適切な方法で情報収集することができる。 ○調査した情報を整理し、もの作り名人の考えを自分なりに分析することができる。	-	○それぞれが調査・整理した情報を交流し、もの作り名人がもつ考えの共通点や相違点を友達と共に考えることができる。
第3次 ⑨	○学習を振り返り、自分の将来の夢や希望についてまとめることができる。	○学んだことを生かし、自分の将来を考え、自分なりの夢や希望をもとうとしている。	○学習を通して育んだ夢や希望を交流しながら、お互いの夢や希望について認め合うことができる。

5 単元の展開（全35時間）……………【研究視点2】探究的な活動を重視する単元構成の工夫

次	過程	○主な学習活動	◇教師の働きかけ ☆評価
第 一 次	【課題の設定】	○社会科で学習した「工業生産を支える人々」を振り返り、プロジェクトX「日本のマイカー てんとう虫町をゆく」を視聴し、日本の技術者の素晴らしさやもの作りの素晴らしさを話し合う。① ・今は当たり前に使っている自動車だけど、実用化	◇「将来の夢や希望」に関する実態調査を事前に実施しておく。 ◇社会科で学習した「工業生産を支える人々」と関連付
	【情報の収集】 ⑪	○正和電工を訪問し、バイオトイレを発明した正和電工社長橋井敏弘さんの話を聞く。③ ○話を聞いたことを整理し、橋井社長が大切にしている考えをまとめる。① ・バイオトイレを開発しようという情熱がすごかった ・失敗を繰り返しながら、成功にたどりついた努力がすごかった。	◇バイオトイレを開発し製品化するまでの情熱や信念、努力について話してもらう ☆正和電工やもの作り博覧会を訪れ、積極的にもの作りに携わっている人に話を聞くことができる。 ☆正和電工見学や橋井社長の話を聞き、もの作りの素晴らしさやもの作りに携わる人の考えに関心をもつことができる。
	【整理・分析】	○「もの作り博覧会」を見学する。④ ・鉄工組合主催の「鉄でできた動く恐竜のおもちゃ」作りを体験する	◇商工会議所が主催するもの作り博覧会を見学し、もの作りに対する興味・関心を高める。
	【まとめ・表現】	○「もの作り博覧会」を見学した感想を交流する。① ・旭川にも、もの作りを頑張っている会社がたくさんあることがわかった。 ・ロボットを作っている会社があったけど、どうやって作っているのだろうか？ ・博覧会に出品していた人たちも橋井社長のような考えをもっているのだろうか。 ・もの作りを頑張っている人に会って、いろんな話を聞いてみたいな。	☆見学して見たことや聞いたことを整理しながら、共通課題を設定することができる。
		もの作り名人を訪ね、大切にしている考えを探ってみよう！	

【情報収集】

- 旭川にはどんなもの作り名人がいそうか話し合う①
- もの作り名人を調査する ②
 - ・商工会議所の小池さんに聞いてみよう
- 調査結果から旭川に住むもの作り名人リストを作成する ②
 - ・家具作り名人〇〇さん ・酒造り名人〇〇さん
 - ・お菓子作り名人〇〇さん・ロボット名人〇〇さん
- もの作り名人リストをもとに、自分が訪ねてみたいもの作り名人を決める ①
- 調査活動の計画を立てる ②
 - ・家具作り名人にはデザインを工夫する発想力がありそうだ。
 - ・ロボットを開発するまでには、どんな努力があったのだろう。
- もの作り名人を訪ね、もの作りに関わる思いや考えを聞いてみる。 ④

【整理・分析】

- もの作り名人から聞いた情報を個人で整理・分析する。②
- もの作り名人から聞いた情報をグループで整理・分析した結果を交流し、共通点や相違点を話し合う。 ①【本時】

⑮ 【まとめ・表現】

- ・多くの名人は信念をもってもの作りに取り組んでいるようだ。
- ・目標をもって努力することで、夢を実現させているようだ。
- ・会社には「創意工夫」の文字が掲げられていたよ。
- ・あきらめないことが大切なんじゃないか。
- もの作り名人の話を聞く。 ②

- 橋井社長の話やもの作り博覧会の見学から、もの作り名人を捜すためにどこに行けば解決できるのか話し合う。
- 商工会議所や観光課から得た情報と個人が捜してきた情報を照らし合わせながらリストを作成する。
- ☆自分が関わってみたい名人を決めることができたか。
- 自分が触れ合うもの作り名人が、どのような考えをもっているのかを予想しておく。
- 自分が調べたいことを明確にもち、必要な情報を収集させるように計画を立て、調査を行う。
- ☆もの作り名人がもっているだろう考えを予想し、課題を解決するために、聞き取りをすることができたか。
- 収集した情報を個人で整理し、その後グループで整理・分析を行う。
- グループで整理・分析した結果を全体で交流し、もの作り名人が大切にしている考えの共通点や相違点に気付かせる。
- ☆グループでまとめたもの作り名人が大切にしている考えを全体で交流し、共通点や相違点について考えることができたか。

		職種は違っても、もの作り名人が大切にしている考えには、夢、希望、情熱、信念、努力など共通する考えがたくさんある。そうした考えは、自分たちにとっても大切な考えである！	
第 三 次	【課題の設定】	○これまでの学習を振り返り、自分の生活を振り返ってみる。① ・目標をもって生活することが大切だ。 ・夢をかなえるために、今の生活でも何かできることはあるだろうか。	○もの作り名人とのかかわりを振り返らせる。
	【整理・分析】 【まとめ・表現】	○「将来の夢」を題材に、自分の考えを発表する準備をする。⑤ ○「将来の夢」交流会をする。② ○学習を振り返り、今後自分の生活に生かせることをまとめる。①	○自分の夢や希望と学習したことを照らし合わせながら将来の夢や希望にかかわる作文を書く。 ☆交流会を通して、自分の夢や希望を大切にすると共に友達の夢や希望にも共感することができる。
⑨		もの作り名人が大切にしている考えは、自分が生活していく上でも大切なことである。また、自分たちにとっても夢や希望をもって生活することは、素晴らしいことである！	

6 研究との関わり

(1) 旭川ならではのもの作りの「ひと・もの・こと」の吟味……………【研究視点1】

もの作り名人の情熱や信念

本単元の学習テーマである「将来の夢や希望（キャリア教育）」を学習する際、「職業体験」や「進路選択」を重視するのではなく、人との触れ合いを通して「自分の可能性に目を向ける」ことや「苦手なことや初めてのことに失敗を恐れず取り組む」姿勢を育み、「自分の夢や希望」を考えていくことを重視した。

旭川は、家具、酒、お菓子、工業製品、ラーメンなど多種多様な「もの作り」が存在する地域である。そこには、もの作りに対する情熱や信念、夢や希望などを大切にしながら仕事に取り組んでいる人たちが多く存在する。児童は、「もの作り名人」との触れ合いを通して、情熱や信念などを感じ取ったり、目の前で行われる仕事を見学することで、その技術を目の当たりにしたり、実際に話を聞くことで努力することの大切さや夢をもつことの素晴らしさなどを学ぶことができ

るであろう。そうした「もの作り名人」から得た学びは、児童が「将来の夢や希望」を考える一つの指針となるはずである。

(2) 追究グループでの整理・分析を生かす単元構成の工夫 …………… 【研究視点2】

追究グループとの協同的な学び

探究的な学びを支える一つの要素に協同的に学ぶことがあげられる。協同的な学びの場は、目的に応じて多種多様な場面が考えられる。

協同的な学びが成立するためには、個々の整理・分析の過程がしっかりしていなければならない。収集した情報を自分の予想と比較したり、関連付けたりすることで、しっかりと根拠のある考えにたどり着くことが重要である。5年生では、発達段階から考えて、そうした個々の整理・分析を行った後に小集団での整理・分析を行う。全体での整理・分析に入る前に、小集団での整理・分析を行うことで、自分の考えに自信をもつことができたり、交流の中で得た新たな情報から考えをふくらませたりすることで、全体での場面では個人個人が自分の考えに基づいた主張ができると考える。そうした積み重ねが、全体での整理・分析に生き、個人の考えに支えられたまとめにつながる。

自分の考えとの関連付け

本時では、個人で行った整理・分析の結果をグループで交流しながら、もの作り名人が大切にしている考えの共通点や相違点に気付かせていく。グループ交流では、個人の整理・分析がしっかりしていることで、自分の考えを根拠をもって主張ができるはずである。また、同じ学習対象と関わった小集団で交流させることで、共通部分が多くあることが予想され、友達の考えと自分の考えを関連付けることで、自分の考えに自信をもつことができると考える。そうした活動は、全体交流におけるまとめに生きてくると考える。

(3) 整理・分析における小集団への発問の工夫…………… 【研究視点3】

小集団ごとの発問の準備

総合的な学習を展開していく中では、個人や小集団で学習を進めていかなければならない場面も多い。そうした場面で、教師がどのように関わっていくかは児童の学習を支える上で重要なことである。

本時は、児童が小集団に分かれて活動している場面が主となる。児童は個人で整理・分析したカードをもとに、小集団での整理・分析の作業を行うことになるが、そうした活動をさせる際に大切な教師の関わりは、学びを広げ深めるために行う場面に応じた適切な発問をすることだと考える。前時まで個人で整理・分析したカードを手がかりに、児童の話合いを予測し、どの小集団にどの場面でどんな発問が必要なのかをしっかりと考えておく必要がある。そうした準備をしておくことで、複数の小集団で話合いが進められる学習形態の中でも、効果的に児童の学びを広げ、深めていくことが可能であると考えられる。

7 本時の授業

(1) 本時の目標

- 個人で整理・分析した情報を根拠をもって主張し、友達の考えと比較したり関連付けたりすることで、もの作り名人が大切にしている考えの共通点や相違点に気付くことができる。

【学習方法について、他者や社会とのかかわりについて】

(2) 本時の展開 (26 / 35)

主 な 学 習 活 動	□教師の働きかけ◆評価☆研究とのかかわり
<p>○もの作り名人の調査活動をふり返る。</p> <p>○本時の課題を確認する</p>	<p>□これまでの活動の振り返りができるよう写真等で視覚的に振り返らせる。</p>
<p>もの作り名人が大切にしている考えを交流し、共通点や相違点を見つけよう。</p>	
<p>○個人で整理・分析したポストイットカードを使って、グループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○名人の大切にしている考えは、自由に考えることだと思います。なぜなら・・・ ・○○名人は夢を大切にしないと話していました。 ・○○名人は努力という言葉がたくさん使って話をしてくれました。 <p>○整理した情報の共通点や相違点を見だし、キーワード化していく。</p> <p>○グループで交流した結果を全体で交流し、もの作り名人が大切にしている考えをまとめていく。</p> <p>○もの作り名人に話を聞く。 ※次時へ続く。</p>	<p>□発言する際は、できるだけ根拠を明らかにして発言するよう促す。</p> <p>□個人の考えを尊重しながら活動を進めるよう促す。</p> <p>◆自分の考えを根拠をもって主張することができたか。(発言)</p> <p>☆小集団ごとに工夫した発問…研究視点3</p> <p>□カードが全部貼り終わった段階で、情報を類型化し、共通化できるものはキーワードを添えてまとめるよう指示する。</p> <p>◆友達の考えと比較したり関連付けたりすることで、もの作り名人が大切にしている考えの共通点や相違点を見いだすことができたか。(ノート, 発言)</p> <p>□初めに会った橘井社長から授業の評価や大切にしている考えを聞く。</p>

(3) 本時の評価規準

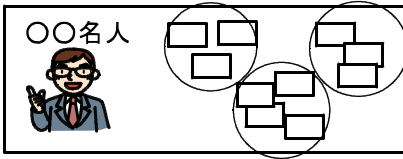
<p>◇評価規準の具体 (評価方法～ノート)</p>	
<p>(A) 十分満足できる</p>	<p>友達の考えと比較したり関連付けたりすることで、もの作り名人が大切にしている考えの共通点や相違点を見だし、キーワード化することができる。</p>
<p>(B) おおむね満足できる</p>	<p>友達の考えと比較したり関連付けたりすることで、もの作り名人が大切にしている考えの共通点や相違点を見いだすことができる。</p>
<p>* 努力を要する児童への指導</p>	<p>友達の考えをしっかりと聞くことで、自分と同様の考えがなかったかを確認させ、関連付けて考えるよう促す。</p>

10月16日(金)

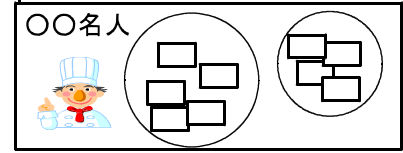
課題

もの作り名人が大切にしている考えを交流し、共通点や相違点を見つけよう。

〇〇名人



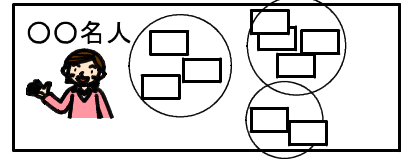
〇〇名人



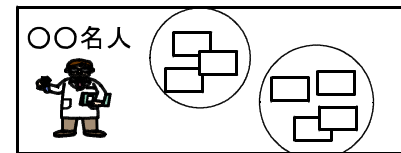
もの作り名人が大切にしている考えは・・・

- ・情熱や信念を大切にしている
- ・自由に考えること
- ・あきらめないこと
- ・夢や希望を持つこと

〇〇名人

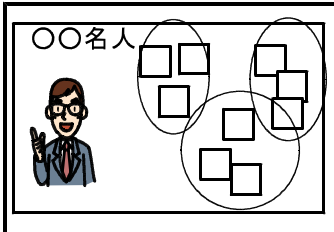


〇〇名人

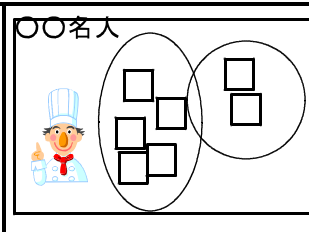


サブ黒板 (グループ発表用)

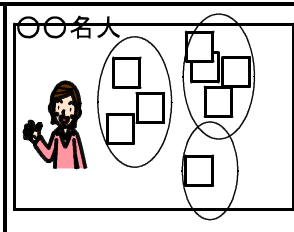
〇〇名人



〇〇名人



〇〇名人



〇〇名人

